



校報松風

新山かがやき祭り～2年生が1年生を招待してお祭りを開催～

12月1日（金）、生活科の学習で2年生（かがやき学年）が1年生（にじいろ学年）を招待して、お祭りを行いました。

このお祭りのねらいは「製作活動や遊びの活動を通して、自分自身のよさや友達のよさに気付く」「自分なりに作りたい物のイメージをもち、工夫して遊びを楽しむ」「身近にある物を利用して、楽しく遊ぶ」「自分の思いをもち、進んで友達や1年生と関わろうとする」ということです。2年生が考えたテーマは、次の通りです。

みんなできょうりよく キラキラえがお いっしょうの おもいでにしよう しんざん かがやきまつり

「一生の思い出にしよう」とは、2年生の思いがこもったすごいテーマだと思いました。発表した踊り「いやさか秋田」や「おくねり」での掛け声、様々な遊びができる出店など、その思いが実現されていました。

1年生は、2年生の迫力のある踊りに大きな拍手を送ったり、おくねりで2年生と手をつないで、「ワッショイ、ワッショイ」と声を出したりしていました。

「出店」は、「魚釣り」「射的」「パッチンジャンプ」「ロケットぼん」「ヨットカー」などたくさん楽しいお店が並びました。1年生は、目を輝かせて色々な店をまわり、様々な遊びを楽しみました。2年生は、1年生に優しく声を掛けたり、「がんばれ～」と励ましたり、上手にできたら拍手をして盛り上げたりして、お兄さん、お姉さんぶりを発揮していました。それぞれのお店から歓声が聞こえ、楽しい時間を過ごしました。「かがやき祭り」は大成功でした。



【踊り「いやさか秋田」】



【おくねり】



【出店「ぼこぼこ屋（もぐらたたき）」】

児童のがんばり～おめでとうございます～

- 第49回豊島杯争奪全県選抜
新人少年サッカー大会 R5.11.11-12
準優勝 新山ベアーズ
- 予選リーグ
 - 新山 4-0 下新城・旭南●
 - 新山 1-0 四ツ小屋・牛島●
 - 新山 1-0 大住●
- 1位トーナメント
 - 準決勝 ○新山 4-2 八橋
 - 決勝 ●新山 0-4 T2ジェネラルSC



- 第1回南極オープン卓球大会 R5.12.3
小学生の部 1位トーナメント
第3位 MIYAMOTO軍団

4月に行われた全国学力・学習状況調査の本市と本校の結果をお知らせします。

令和5年度 本市の全国学力・学習状況調査結果

1 調査の概要

本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学習指導の改善を図る目的で、平成19年度から実施されています。全国の小学6年生と中学3年生が対象で、今年度は令和5年4月18日（火）に実施されました。

2 調査の内容

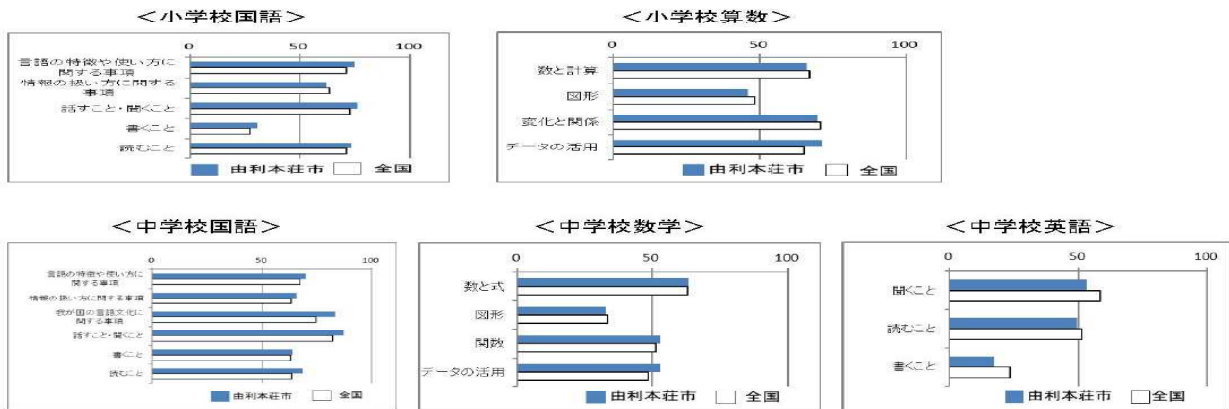
調査内容は、小学校が国語と算数、中学校は国語と数学に加え、英語が実施され、学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題が出題されました。また、調査する学年の児童生徒を対象とした学習習慣や生活習慣等に関する児童生徒質問紙調査と、各学校の校長が回答する教育環境等に関する学校質問紙調査が実施されました。

3 秋田県と全国の比較（今年度も、県の平均正答率は整数値で発表されています）

〈小学6年 平均正答率(%)〉		
	国語	算数
秋田県	72	65
全国	67.2	62.5

〈中学3年 平均正答率(%)〉			
	国語	数学	英語
秋田県	74	52	44
全国	69.8	51.0	45.6

4 本市の結果について（授業改善に生かすため、領域ごとにグラフでの比較としています）



質問紙調査からは、小学校・中学校とも、将来の夢や目標をもち、自分自身を肯定的に捉えながら、学校に前向きに通っている児童生徒の割合が年々増加していることが分かりました。各学校における授業実践や先生方の関わり方が児童生徒によりよく反映されていること、保護者が温かく我が子に接していることが分かる結果となりました。その一方で、1日あたりの学習時間は減少傾向にあります。放課後や家庭における有益な時間の使い方について、さらに改善していく必要があると思われまます。

新山小学校（6年生）全国学力・学習状況調査結果

1 正答率

	国語	算数
新山小	68	60
秋田県	72	65
全国	67.2	62.5

今年度4月の調査結果です。国語は全国平均とほぼ同じで、算数は全国・県平均を下回る結果となっています。

2 学習指導要領の内容別結果（国語）

	言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い方 に関する事項	話し・聞く	書く	読む
新山小	72.2	61.5	75.2	24.8	73.7
秋田県	74.4	66.5	80.1	30.1	76.6
全国	71.2	63.4	72.6	26.7	71.2

国語では、漢字の書きが全国正答率よりも概ね高く、敬語の理解については県平均を上回る結果となっていました。書くことの領域の「書かれている内容の要約」の設問においては県平均を上回り、中心となる語や文を見付ける力は付いていると考えられます。情報の扱い方に関する正答率が低かったため、国語や他の教科でも情報を整理する目的を明確にして学習するようにしてきました。

3 学習指導要領の領域別結果（算数）

	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
新山小	62.3	46.3	66.9	68.4
秋田県	69.1	50.0	71.7	73.1
全国	67.3	48.2	70.9	65.5

算数では、「台形の意味や性質」「二つの数量の関係が比例ではない理由の説明」「二次元の表の読み取り」の正答率が県平均よりも高かったです。「計算のきまり」「百分率」「比例の関係の活用」「複数のグラフの読み取り」の正答率が低かったため、算数の時間や朝活動の時間に復習してきました。

質問紙では、「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む」は88.2%で、県よも4.0ポイント高かったです。自分事として課題意識がもてるように授業づくりが行われている成果であると考えます。「学んだことを生かしながら自分の考えをまとめる活動」は87.3%で、県よりも4.5ポイント高かったです。「授業で学んだことを他の学習で生かしている」は98.7%で、県よりも5.8ポイント高かったです。「学びのつながり」を意識した学習計画と振り返りの位置付けの成果であると考えます。

「朝食を毎日食べる」は92.4%、「毎日同じくらいの時刻に寝る」は81.4%で、全国・県平均をやや下回っていましたので、基本的な生活習慣の改善についてご家庭での声掛けをお願いします。

11月末から12月初めには、1～4年生が総合学力調査、4～6年生が県学習状況調査を行いました。結果は、後ほどお知らせします。